

事業報告

令和3年度 大分県社会教育主事専門研修会

日時：令和3年7月28日（水）12：50～16：15

会場：大分県立図書館 第2・3研修室 参加者：25名

（市町村15名、県：10名）

<研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育のより一層の振興を目指し、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育主事を対象に、専門的教育職員としての知識・技能の向上を図る。

<研修内容>



【開会行事】開会あいさつ
大分県立図書館 館長 宮迫 敏郎 氏



【研修1】講義：「社会教育行政に期待すること」
講師：別府大学 理事・法人事務局長
大分県社会教育委員会議
委員長 盛本 功爾郎 氏

【研修1】講義：「社会教育行政に期待すること」
講師：別府大学 理事・法人事務局長
大分県社会教育委員会議委員長 盛本 功爾郎 氏

社会教育行政職員の職務と社会教育・生涯学習の歴史と役割、職務遂行に期待すること等について講義。

【研修2】講義：「大分県社会教育委員会議による建議」について
講師：大分県教育庁社会教育課 課長補佐(総括)
兼主任社会教育主事 馬場 尚登 氏

令和3年1月大分県社会教育委員会議による建議「地域の持続的発展に資する人材の育成について」具体的に説明。



【研修3】講義：「大分県社会教育委員会議による建議」の事業化

講師：大分県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 黒木 哲也 氏

「大分県社会教育委員会議による建議」の事業化についての6グループに分かれ、シート(6W2H)を基に課題解決の事業化について協議。



＜参加者感想＞

- 盛本先生の講義を聞いてとてもよい学びができた。
- 日頃考えていない社会教育の歴史と役目を理解することができた。
- 大分県の社会教育の課題の一端を知ることができた。
- 他市の方、立場の違う方と情報交換ができ、新たな視点をもつことができた。
- 久しぶりに顔を突き合わせて研修ができてとても楽しかった。
- 時間設定をもう少し講師と詰めてもらいたい。「社会教育のおさらい」が長すぎる。
- マスクをしていたのでパーテーションはなくてもよかったのでは？せっかくの話がよく聞こえず残念だった。
- ◇研修3は、テーマを決めずにそれぞれの現状と課題の中から対処法を考える研修でもよかった。
- ◇パーテーションを使ったワークショップの難しさを改めて実感した。
- ◇来年度は丸一日かけてじっくり研修できることを祈る。